

令和 8 年度

大阪大学

一般選抜（前期日程）

解答例又は出題の意図

数学（文系・理系）

数学A（文系数学）

- ① 数列と対数に関する問題である。対数や階差数列の基本性質の理解に加え、累乗の和を着実に計算する能力が要求されている。
- ② 空間ベクトルに関する問題である。4点が同一平面上にあるための条件と内積などを用いてベクトルを求め、その長さの最小値を正確に計算する能力が要求されている。
- ③ 関数の最小値に関する問題である。2次関数の積分と3次関数の微分を計算し、求める範囲についての的確に論証する能力が要求されている。

数学B（理系数学）

- 1 面積の最大値に関する問題である。微分を用いて曲線の3つの接線から作られる三角形の面積を正確に求め、その最大値を計算する能力が要求されている。
- 2 空間ベクトルに関する問題である。4点が同一平面上にあるための条件と内積などを用いてベクトルを求め、その長さの最小値を正確に計算する能力が要求されている。
- 3 複素数に関する問題である。与えられた条件を適切に表現し、その条件をみたす複素数の個数を正確に求める能力が要求されている。
- 4 定積分で表された関数の極限に関する問題である。不等式の成立を示す論証力と、積分を計算して極限を的確に求める能力が要求されている。
- 5 確率に関する問題である。確率の基本事項の理解に加えて、与えられた条件を的確に整理して効率的に数え上げる能力が要求されている。